



Interactive Training in Communication-Japan

No. **2**

Volume **43**
February 2025

目次

Table of Contents

今期のテーマ	1	2024-2025 Theme
ITC-J 会長メッセージ	2	ITC-J President Message
ITC-J 役員会メッセージ	3	ITC-J Board Message
委員会の活動	4～6	Committee Activities
カウンスル会長会報告	7	Council Presidents' Meeting Report
カウンスル会合報告	8～11	Council Meetings Report
ITC-J 第43期 年次大会ご案内	12	Invitation to the 43 rd Annual Conference
年次大会準備委員会名簿	13	Annual Conference Prep. Committee
年次大会日程一覧	14	Annual Conference Schedule
講演	15	Lecture
教育セッション	16～18	Education Sessions
晩餐会エンターテインメント	19	Banquet Entertainment
前夜祭 前日観光のご案内	20～21	Information for Sightseeing
年次大会 申込要領	22	Guidelines for Registration
ITC-J 宣誓 声明文 ／編集後記		ITC-J Pledge & Mission Statement of ITC-J ／Message from Editor
申込書		Application form

ITC-J 第43期 テーマ
2024-2025 ITC-J Theme



原点 継承 前進



ITC-J 第43期 会長メッセージ



ITC-J 第43期会長 松山 喜代子

2025年が開幕いたしました。期首より原点を守り、継承し、次世代に繋ぐ、そして前進する、それが今の私達会員の責務だと思い活動して参りました。健全に継承するには工夫が必要であると考えました。

今期の活動として、ITC-J 会員委員会が主体となり開催しています「カルチャーセミナー」は、今回初めての試みとして各カウンシルが独自で企画・運営しています。

担当カウンシルの皆様は、試行錯誤しながらも立派に成し遂げられました。結果は主催者側、参加者側、どちらにとりましても素晴らしいセミナーとなりました。一緒に作りあげた達成感、チーム力、先輩と後輩の交流。ブレイクアウトルームでは新たな出会いもありました。

リーダー育成委員会の「インストラクター養成講座」は、100名の定員を超え実施していますが、在籍年数の浅い会員からベテラン会員迄が楽しく受講しておられます。学びを喜びを感じる会員の皆様の姿勢と笑顔は、会員同士のエネルギーにもなっているようです。

未来プロジェクト委員会は、ITC-Jの将来を考え、オンラインクラブ設立を目指して、先ずはオンラインサロンを開催しましたが、参加者の一人が興味を持ち、クラブゲストとして参加されることになりました。

ITC-J 新ウェブサイトでは、HPに興味のある多くの会員が触れることが出来るようにしました。ITC-J 新ウェブサイト開設にあたり、委員会の大きな力を感じました。

年次大会の講演に、2025年日本国際博覧会 副会長・理事・シニアアドバイザーのウスビ・サコ氏が講師としてお越しくございます。ITC-Jが、55年ぶりに大阪で開催される日本国際博覧会に関わることができれば望ましいと期首より思っておりました。TEAM EXPO 2025に登録をして万博のテーマに沿ったプレゼンテーションを行って参りました。ITC-Jの日頃からの地道な活動を、万博会場で発表することを考えております。

私達の組織は国際的な教育団体でしたが、今は各国独立して活動をしています。そして世界各国の会員が繋がり交流をしています。1月に、“Global Communicators”の英語会合がZoomで開催されました。初参加の方も増え楽しんでおられました。元ITCの形態は変わりましたが、各国の活動は変わりなく、Zoomで海外の会員とコミュニケーション出来る良いチャンスになっています。ご参加、歓迎します。

ITC-Jはこれからも、会員の皆様とともにグローバルな教育団体として、明るい未来に向かって、誇りを持って元気に歩んで参りたいと思います。



ITC-J 第43期 役員会

						後列
						前列
	書記	第一副会長	議会議法役員	編集者	JCLO	第二副会長
竹内ひとみ	高橋 信子	黒柳美紀子	大野三恵子	堤 其美子	山口久美子	佐伯 省吾
			会長		次期会長	
			松山喜代子		小八木利子	

～JCLO から～

山口 久美子

毎月1日発行のITC-J通信を、お読みになっていらっしゃいますか。もし、読んでいなければもったいないです。気がついてますか。通信のトップを飾る写真は、大阪で開催する年次大会に向けて毎月変えながら、皆様を大阪の各地にご案内しています。

ITC-J通信の大きな目的は、各役員からのお知らせ、会員の動静、委員会からの連絡など、その都度、会員に知っていただきたい大切な情報を掲載しています。正確な情報をお届けするために、役員会とは別に校正会を開いて、役員全員で細部にわたって内容確認をしています。

掲載している委員会活動の中でも、未来プロジェクト委員会は、日中のクラブ例会に参加できない方に向けての受け入れ先としてオンラインサロンを開設し、その活動状況を報告しています。

他にも交流と社会貢献を目的とした各カウンシルで取り組んでいるカルチャーセミナーのご案内も紹介しています。

ITC-J通信は、Jの役員会活動と会員とを繋ぐ架け橋です。これからも、役員会は皆様へ最新の情報をお届けします。ぜひご高覧ください。

委員会の活動

会員委員会

カルチャーセミナーの方向性と報告

会員委員長 佐伯 省吾

- ① カルチャーセミナー事前 Zoom 勉強会
2024年9月13日 参加者75名 山口久美子講師
- ② 第1回担当カウンスル No.3 カルチャーセミナー
2024年10月6日 参加者75名 テーマ「言葉は生きている」 山崎 直美講師
- ③ 第2回担当カウンスル No.1 カルチャーセミナー
2024年11月3日 参加者89名 テーマ「情報セキュリティ、インターネットの安全性」
加藤 玲子講師
- ④ 第3回担当カウンスル No.4 カルチャーセミナー
2025年1月12日 参加者80名 テーマ「あなたのところに栄養を」 大元絵里子講師
- ⑤ 第4回担当カウンスル No.6 2025年3月2日
- ⑥ 第5回担当カウンスル No.8 2025年5月11日

カルチャーセミナー開催の目的はこれからの時代に適したオンラインによるコミュニケーション教育の必要性を発信することです。オンラインによる時間短縮で、世界の人々とのコミュニケーションを共有する ITC-J である事です。

その為には我々 ITC-J メンバー全員が日常的に Zoom で会議や勉強会に参加できることです。何より大切な顔を見ながらの会話に ITC-J らしさを実感するカルチャーセミナーでは、参加者が毎回75名以上で真剣に講師の話聞く姿勢に開催して良かったと思っています。

コミュニケーション教育の必要性は一般社会でも認識され受講料を払って学んでいる人が沢山います。すでにコミュニケーション学習塾が存在しているのも事実です。

ITC-J は非営利団体です。もっと社会に必要とされる ITC-J であるためにも、カルチャーセミナーを色々な角度で広めていきたいと思っています。

ITC-J 未来のために、会員皆様のパワーで、実践・発信をして頂けることを願っています。

訃報

名古屋クラブ会員 盛田 純子様

盛田純子さんは1958年入会、第4期日本リージョン会長を務められ、日本のトーストミストレス、ITC を育て、牽引されたリーダーでした。品格と凛とした指導力をお持ちでありながら優しく温かいお人柄で、疑問に思うことをお尋ねするといつも理路整然と丁寧に教えてくださる敬愛する大先輩でした。最後の数年は例会にご出席にはなれませんでした。ITC-J と名古屋クラブを心から愛し続けて下さったことに深く感謝いたします。

名古屋クラブ 西村みつ子

元広島クラブ会員 桑原 美紀子様

第19期リージョン会長としてご活躍された頃の思い出が胸に去来し、寂しさをかみしめております。謹んでご冥福をお祈りいたします。

委員会の活動

未来プロジェクト委員会

目的と活動

委員長 中井 恵侑子

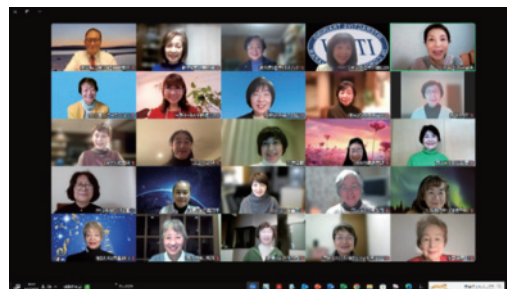
ITC-Jの学びをより多くの方に知っていただき、会員を増やすために委員会で話し合いを重ねた。コロナが落ち着いた今、オンライン会議は日常で便利に活用されている。予てより、ITC-J松山会長よりの提案もあり、我がITC-Jも「オンラインクラブ」設立を目指し、先ずは「第1回オンラインサロン」を開催した。

- 1, 各地域でカウンスル主催の「学生スピーチコンテスト」開催の推進。
地域に密着して社会への貢献を目指す。
- 2, 広報活動として、関西万博への参加。
松山ITC-J会長が主導で「TEAM EXPO 2025」への登録が完了した。

第1回オンラインサロン報告

日時：2024年11月20日20時～21時 参加者：31名

- ・ITC-Jについて 高山敦子
- ・自己紹介：「会員による自己紹介」
平田真弓、山崎直美、山口久美子
- ・コミュニケーション：小菅あけみリーダー育成委員長
- ・会の運営法：「わかりやすく会議をスムーズに」葛谷美紀子会則・決議委員長
- ・プレゼンテーション：「成功の秘訣」山口久美子
- ・ゲストと共にコーナ：「自己紹介、今日の話題」津田由貴
- ・案内：ITC-J年次大会、カウンスル No.3 高校生スピーチコンテスト
西島敏子 タイマー 山中恵枝
- ・ゲストの感想：ITC-Jの内容がよく分かった。最初は緊張したがとても有意義でした。
自己紹介を促されて緊張した。また参加できればと思った。



会員が紹介されたゲストに、興味を持っていただき ITC-Jの会員増強を目指す。一般ゲストが少ないのは、会員の皆さんに周知していただいていないと感じた。未来に向けて会員増強の協力を願うばかりです。「オンラインサロン」終了後は、皆さんと笑顔で写真を撮った。

ウェブサイト委員会

委員長 南野 利江

会長・役員会の依頼により、新しく「ITC-Jウェブサイト」を立ち上げました。なるべく元のウェブサイトと似たような形に作成しました。字を大きく、項目を減らし、シンプルを心掛けました。URLは <http://www2.itejr.jp/> です。Top ページの上の3項目は、一般の方が（ログイン無しで）見られるページです。「ITC-J元のHP」には過去42年間の膨大なデータが保存されています。過去のデータをご覧になる場合は、トップページにリンクした「ITC-J元のHP」へ以前のパスワードでお入りください。「ITC-J新ウェブサイト」には、43期からのデータや資料を掲載、保存していきます。皆様ご活用ください。会員ログイン方法はP18をご覧ください。

委員会の活動

リーダー育成委員会

活動報告

委員長 小菅 あけみ

目的と活動：会員のコミュニケーションのレベルアップのため「New インストラクター養成講座」を開催中です。コロナを経験した私たちは、今の時代の必要性に応じて、Zoom でも上手な話し方を地域社会や家庭で役立てることができるようにトレーニングをしています。

日 程：10月から3月までの毎月第3土曜日の夜8時～9時30分（4回目まで終了）

参加 費：会員対象で無料。

参加 者：定員100名。現在満席で、欠席するときは事前通知をしてもらい、ウェイティングリストの方に知らせます。当日参加できなかった方は、後日ビデオを見ることができます。

プログラム：6回講座。前半は、プレゼンテーション、声、ボディーランゲージとジェスチャーなどの基礎編に加え、毎回 Zoom 特有の注意点や確認をしました。後半は Zoom の使い方、ちょい足し言葉、を新しく入れて、最後のまとめをします。

講座 担 当：山口久美子会員。以前のパワートークの基本を日本語教材と入れ替えました。持ち前の明るさとわかりやすい話に、終始笑い声が絶えません。日本語特有のきめ細かいところまでコメントが及びます。

参加者の反応：すでに Zoom 内容を経験していても忘れていたことがあって、使い方の再確認にもなると前向きな評価を頂いています。毎月画面上で会うことで、カウンスルを超えての交流にも役立つと、好評です。

★全課程を受講した方には、修了証書が出ます。そして ITC-J が認定する「インストラクター」に挑戦することもできます。



New インストラクター養成講座

NEW インストラクター養成講座 課題概要

課題1：上手なプレゼンテーションをするには

課題2：効果的な声の使い方

課題3：ボディーランゲージとジェスチャー

課題4：知って得する Zoom のあれこれ

課題5：上手なコミュニケーション

【ちょい足し言葉】

課題6：全体的なまとめ

カウンスル会長会報告

書記 竹内 ひとみ

12月3日（火）夜約2時間にわたり、Zoomによるカウンスル会長会が開かれました。

出席者の自己紹介、役員からの報告に続き、各カウンスル会長から①今期方針 ②会合報告 ③現状報告と問題点の3点について発表がありました。その後、質疑応答・情報交換の時間を設け、熱のこもった話し合いとなりました。各カウンスルが抱える問題や悩みを共有し、それぞれのカウンスルが工夫を凝らした活動を紹介し、質疑応答も活発に行われました。

各カウンスル会長の報告から

・年間テーマは会長の熱い想いを表す言葉

それぞれのカウンスルが抱える状況は異なるものの、会長がその状況を打開しようと掲げたテーマには決意と熱い想いが込められています。「トライアルー可能性を探る」「歴史に学び そして未来へ」「今だからこそ～思いやりと共感の心を持って～」「原点回帰」「翼にビジョンを乗せて」「点滴穿石」「あなたを知って 私を伝える〈対話力を磨きましょう〉」「冷眼熱心」など、各会長の発表内容を重ねると会長の切なる思いが伝わりました。

・会員の高齢化と会員数の減少は共通の悩み

会員が高齢化し、会員数が減少することにより、例会運営が困難になっているのが各カウンスル共通の問題です。クラブ間交流を図り元会員の参加を促す「カムバック・キャンペーン」、持続可能なカウンスル運営、また魅力あるプログラムの企画など様々な対策を練っている様子が伺えました。会員数が減ることにより活動予算が厳しくなる現状を踏まえ、会場を見直して公共施設を利用したり、欠席協力金の拠出をお願いしているカウンスルもあります。

質疑応答・情報交換から

・ニュースレター作成の工夫

各カウンスルにおきましては、マンパワー、予算などの状況に応じて、工夫をしておられます。

- ① 印刷会社に依頼している。(会員に負担がかかる為)
- ② 編集担当者が、全ての原稿を作成し、印刷のみをオンラインで依頼する。(マンパワーは有るが、経費削減の為)
- ③ 編集担当者が、全ての原稿を作成し、印刷はせずにウェブのみで配信している。(少人数カウンスルでのスリム化)

・スリム化も必要

会員数の減少により、役員会や委員会をスリム化し、日程調整をしたうえで役員会と委員会を合同で行っているカウンスルがあります。できるだけ委員会の数を減らし、対面で行う会議を減らしているとのことでした。

・年会費・欠席協力金について

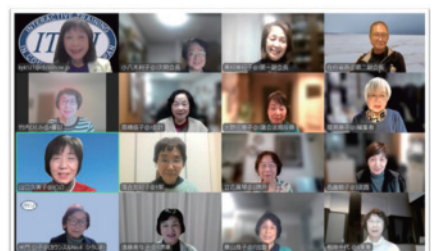
各カウンスルの年会費や欠席協力金についての情報交換を行いました。年会費は4,000円～8,000円で、今後値上げ予定のカウンスルがあります。欠席協力金は、500円あるいは1,500円でした。

・大阪での年次大会についての説明

2025年日本国際博覧会が55年ぶりに大阪で開催されます。その時だからこそできることを行いたい。また年次大会の講演に、博覧会関係の方を講師としてお招きする予定であると会長から説明がありました。会場は、JR 大阪駅に近いホテルで行われます。

ITC-Jの未来について

最後に、ITC-Jの今後について各会長から抱負が述べられました。これまでの歴史を大切にしながら、新しいオンラインでの活動も取り入れ、会員同士の情報交換をしながら社会に認知される活動を目指して前進したいとの思いが聞かれました。



カウンスル第1回会合報告

Council No. 1

会長 落合 友紀子

カウンスル No.1 第1回会合は、10月31日ゲスト・講師を含め83名の参加となりました。



プログラムは松浦照子名古屋短期大学名誉教授を迎えての「日本語を科学する」。私達が生来人と繋がるために大切な母国語の特性に焦点が当てられました。午前中のビジネスの整然とした雰囲気が一変。音声の特徴、親族の呼称から見える日本社会の人間関係についてグループ作業をしながらの熱のこもったディスカッション。

そして最後に講師が外国人にもわかりやすい「易しい日本語」への取り組みを紹介され、社会の変化が言葉に与える側面にも言及されました。予想以上の会場の盛り上がり、会合に参加し共に学ぶ喜びを改めて感じていただけたのではと思っております。



Council No. 2

会長 立花 眞琴

カウンスル No.2 第1回会合は、11月11日（月）神戸ポートピアホテルに於いて、会員47名、ゲスト16名、合計63名で開催しました。公式訪問者はITC-J松山喜代子会長。大原慶子大会準備委員長が年次大会の案内をされました。



プログラムの講師は『人はなぜ星を見上げるのか』の著者 星つむぎの村代表理事、宙（そら）先案内人の高橋真理子様でした。スクリーンで活動を紹介され、病院に入院している子供達に星空を見せる「病院がプラネタリウム」の活動は感動的なお話でした。引き続き参加者はスクリーンに映る「星空の世界」へ誘われ宇宙を体験しました。

講演後、それぞれ感想を言葉に書いて発表し、参加者は感動と癒しを貰い宇宙の中にいる小さな自分を考えさせられました。



カウンスル第1回会合報告

Council No. 3

会長 西島 敏子

11月29日（金）神戸ポートピアホテルで開催された第1回会合は、各テーブルに折り紙で作られた花やキャンディーボックスが参加者を温かく迎えられる可愛い飾り付けでした。



この心温まる環境の中、プログラムは8クラブ代表者が「私の健康法」のテーマで各々興味深く、参考になるスピーチをしました。

続いて講師 Lily Iguchi 氏による「トーク&カントリーダンス」が行われ、講師自身の体験に基づく健康法の紹介と、アシスタントと共に行うダンスによって、全員が楽しく参加しました。輪になって踊る光景は熱気に包まれ、頬はほころび、うっすらと汗をかくほどでした。



参加者同士の絆が深まり、「楽しかった」「参加して良かった」という声を聞き、今回の会合は貴重な時間となりました。このような交流が今後の活動に良い影響を与えることを期待しています。

Council No. 4

第一副会長 米門 公子

第1回会合は2024年11月18日（月）、リーガロイヤルホテル広島で開催しました。出席者は86名（会員68名、ゲスト18名）でした。



プログラムでは、広島大学の小川陽子准教授をお招きして「『源氏物語』の世界をのぞいてみましょう」というタイトル

でお話ししていただきました。千年以上も前に書かれ、しかも54帖からなる長編ですから、80分の講演でどれだけ理解できるだろうかと心配しましたが、パワーポイントを使い、NHKで放映中である「光る君へ」の内容もおりませながら、分かりやすく説明してくださいました。講演後のテーブルトークでは活発な感想などが飛び交っていましたが、皆さんに楽しく平安文化に浸っていただけたのではと思っています。



カウンスル第1回会合報告

Council No. 5

会長 遠藤 美与子

2024年11月19日 第1回会合開催。出席者60名（会員49名、ゲスト会員11名）。

現会場保持の為に細則修正案審議の結果、来期から年会費が2,000円アップの7,000円となりました。数年前から予想された高齢化と会員減少に真剣に取り組み、カウンスル存続の為に本質は変えずに前進しようとして今回から欠席協力金をお願いし、更にコミュニケーションも兼ねて楽しいバザーを開いて温かいご寄付を戴きました。



ビジネスは正確に、プログラムはカウンスルレベルらしいものを実行したいと考え、今回は初めてとなる古典落語の大御所「桂 福團治」師匠をお迎えして言葉の芸術といわれる話芸と素晴らしい扇子1本での表現力に感動の声が溢れました。



前期から実施中のカウンスルのスリム化が進み、会員の負担を減らした楽しく充実した会合となりました。

Council No. 6

会長 相澤 優三子

2024年11月12日 ANA クラウンプラザ京都にて第1回カウンスル会合が開催されました。

第一部では今年度の役員就任式が執り行われ、改めて気が引き締まる思いでした。



次に平安クラブ45周年記念では平安クラブチャーターメンバーの西田富美子会員から「感謝の辞」が述べられ、諸先輩方の努力のおかげで今があることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。平安クラブがこれからも益々発展しますように、自己研鑽に努めてまいります。

第二部では、映画「二宮 金次郎」鑑賞会でした。貧しさと必死に戦いながら、自分の信じる道を全力で進む二宮金次郎の姿に、皆様涙を流して鑑賞され、あっという間の素晴らしい体験でした。

第1回カウンスル会合は、役員就任式から平安クラブ45周年、映画鑑賞とすべてにおいてご参加くださった方が、温かく見守ってくださってとても心温まる有意義なお時間でした。



カウンスル第1回会合報告

Council No. 7

会長 景山 良子

2024年11月7日（木）倉吉シティホテルにおいて第1回会合を開催しました。



会合テーマ「Listen～あなたを知る～」の下、プログラムは「古典文学から学ぶコミュニケーション術～源氏物語の事例から～」として島根大学准教授野本瑠美様の講演を行って頂きました。

千年の時を経てなお愛され続ける源氏物語を通して、人間同士のコミュニケーションの難しさは全く変わらないことを知ると共に、ではどこの部分で躓きがあるのかという解説があり大変興味深い内容でした。

ワークショップでは和歌の技法でもある「折句」を使った自己紹介を行いました。講師の先生も驚くユーモアに溢れた楽しい折句が次々と披露され、会場全体が和気藹々とした雰囲気となりました。

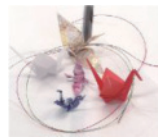


Council No. 8

会長 根岸 千代

豪雨の影響で公式訪問者が2時間も新幹線に閉じ込められるというハプニングがありましたが、お昼も食べないで駆けつけてくださり、インフォメーションを役員報告の後にずらして、事なきを得ました。

プログラムは1部、2部に分けて行いました。1部は「35年のあゆみ」。スクリーンを使い、第1期からの役員名と会長テーマを流し、所々に写真を挟み、ナレーションを入れました。No.8が未来へとつながる学びの場であり続けられますようにと願って作成しました



2部は「プログラムの開発・実施・その先に待っているもの」。各クラブがパワーポイントを使って例会の内容を発表、その後6テーブルに分かれて話し合いました。

プログラム委員長がPadletに纏めましたので、良かったらご覧ください。

ITC-J 第43期年次大会ご案内

大会テーマ 「充実 笑顔」

開催日

2025年6月30日(月)・7月1日(火)

会場

ホテル阪急インターナショナル

〒530-0013 大阪市北区茶屋町19番19号

Tel 06-6377-2100



ITC-J 第43期年次大会は「日本国際博覧会-Expo 2025大阪・関西万博」開催中の大阪のど真ん中梅田にあるホテル阪急インターナショナルにて、「充実 笑顔」のテーマの下、開催いたします。世の中は変わりました。大阪も変わりました。ITC-Jも変わりました。

昨今、Zoomをはじめオンラインで会議を開催する機会が増え、とても便利になりました。大会準備委員会も各部門に亘り、オンライン委員会で準備を進めております。そんな流れの中で、ITC-J 年次大会は年一度、会員が同じ会場に集い、共に手を取り合い、隣同士に着席し、おしゃべりを楽しみながらダイナミックな学びを体験できる特別なチャンスです。

全体講演・教育セッションも今期ならではの内容となっております。

観光は大会前日の6月29日(日)にテレビでお馴染みのカリスマ添乗員・平田進也氏の案内による大阪にいながら世界旅行を楽しんでいただくコースと、ホテル25階の「竹茂楼」で雅な京懐石をゆったりと楽しんでいただくお食事会を計画いたしました。完全貸し切りですので、懐かしい友と大いに笑って、おしゃべりを楽しんでください。

大会準備委員会は、この二日間、皆さまが充実した、笑顔の花咲く楽しい時間をお過ごし頂けます様、委員会一同で心と力を合わせて準備を進めております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。もちろん笑顔いっぱい。

大会準備委員長 大原 慶子 (No.1 岡崎)

大会準備副委員長 山崎 直美 (No.3 しらさぎ・クリスタル神戸)

喜田 秀美 (No.3 淡路)

年次大会 大会準備委員会名簿

大会準備委員長 大原 慶子 (1 岡崎)
 大会準備副委員長 山崎 直美 (3 しらさぎ・クリスタル神戸)
 大会準備副委員長 喜田 秀美 (3 淡路)

委員会	委員長	委員
大会会計	藤川ひとみ (3 淡路)	加茂巳都里 (3 淡路)
登録	鶴山 紀子 (2 甲南)	藤之原仁美 (2 三田)
食事	梶木 博子 (2 御影)	旭 榮 (2 阪神) 船橋 侖子 (2 阪神) 高島 季子 (2 御影) 山中 恵枝 (3 芦屋) 津田 由貴 (3 西宮) 橋本 榮子 (5 大阪) 末廣 佳香 (8 東京)
宿泊	立花 典子 (3 しらさぎ・クリスタル神戸)	則武 紀子 (5 大阪)
会場・備品	南野 利江 (2 御影)	興梠 美和 (2 御影) 本庄 扇宗 (5 北大阪)
デコレーション	玉田知雅子 (3 しらさぎ・クリスタル神戸)	安養寺信子 (3 姫路)
キット・名札・リボン	上西 弥生 (3 姫路)	安積 恭子 (3 姫路) 竹内 邦子 (3 姫路) 山本智恵子 (3 姫路) 佃 眞夕美 (3 しらさぎ)
儀典	柴田 裕美 (5 千里)	宮武 和美 (5 千里) 中村 朱李 (5 千里) 谷間のり子 (5 千里) 寺内伊久子 (5 千里) 平田 真弓 (5 眉山)
V I P 接待	村山 紀子 (4 岡山)	辻坊 洋子 (2 イースト神戸) 松本 敬 (5 豊中)
インフォメーション	清水 貴子 (3 クリスタル神戸)	安養寺信子 (3 姫路) 玉田知雅子 (3 しらさぎ) 佃 眞夕美 (3 しらさぎ) 稲室 恵理 (5 眉山) 齋藤ひとみ (5 眉山)
観光・広報	佃 眞夕美 (3 しらさぎ)	白井 正子 (3 しらさぎ) 玉田知雅子 (3 しらさぎ) 山中 敬子 (3 淡路)
ページ	王 久美子 (5 大阪)	松本 紀子 (1 東山) 井上 明子 (2 甲南) 高井 和代 (2 甲南) 芳岡 淳子 (3 西宮) 大田 紀子 (4 バイリンガル西條) 早川 由美 (5 眉山) 三木 桂子 (5 眉山) 田中眞紀子 (8 東京)
受付	本田 光代 (5 大阪)	讃井 良子 (1 岡崎) 内田 博子 (1 飛騨高山) 横山 末子 (2 甲南・3 クリスタル神戸) 吉田瑠美子 (4 ひろしま) 高橋 葵 (4 バイリンガル西條) 本田 裕子 (5 大阪) 田中 英子 (7 鳥取) 増井美恵子 (8 彩玉)
エンターテインメント	森岡 令子 (3 クリスタル神戸・ポート神戸)	小松利香子 (3 クリスタル神戸)

ITC-J 第43期 年次大会日程一覧

The 43rd ITC-J Annual Conference Schedule at a Glance

大会一日目 6月30日(月) Day 1 June 30 (Mon.)		
8:30~ 9:50	会員登録受付	Registration for Members
8:30~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
9:00~ 9:40	派遣員説明会	Briefing for Delegates
10:00~10:45	開 会 式	Opening Ceremony
10:50~11:55	議事会議・選挙	Business Session/Election
12:00~13:00	昼 食	Lunch
12:10~13:00	登 録 受 付 (会員・ゲスト)	Registration for Members & Guests
13:10~14:45	講 演	Plenary Lecture
15:10~16:40	スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)
17:30~17:50	晩餐会受付	Registration for Banquet
18:00	晩餐会開会	Opening
18:10	表 彰 式	Commendation Ceremony
19:40	役員就任式 (退任式)	Installation
20:10	エンターテインメント	Entertainment
21:00	閉 会	Adjournment

大会二日目 7月1日(火) Day 2 July 1 (Tue.)		
8:30~ 8:50	会員登録受付	Registration for Members
8:30~ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
9:00~ 9:55	議 事 会 議	Business Session
10:20~11:50	教育セッション 5部門	Education Sessions
12:00~12:50	昼 食	Lunch
13:00~15:00	スピーチコンテスト (日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:05	閉 会 式	Closing Ceremony
	次回大会案内	Invitation to the 44th Conference
15:20	閉 会	Adjournment
15:40~17:10	C M T	Council Management Training

ITC-J 第43期 年次大会プログラムのご案内



講演

2025年6月30日（月）

13:10～14:45

講師：ウスビ・サコ氏

Dr. Oussouby SACKO

京都精華大学前学長／全学研究機構長／

デザイン学部・人間環境デザインプログラム・教授

2025年日本国際博覧会協会

副会長・理事・シニアアドバイザー

演題：多様な価値観を認め合う共創社会の実現にあなたができること －多様性のとらえ方から考える社会－

現代、生まれてから死ぬまで、ひとつの文化・社会のなかで過ごすというモデルは、グローバル化によって揺らいでいます。また、軸となるアイデンティティがわからなくなったり、崩れたりしてしまっている人が、世界中で増え続けています。不確定要素の多い世の中であって、社会の抱えている課題はひとつの切り口では解決できないはずです。グローバル化する社会では多様性の認識が求められています。今回の講演会では、社会の変化を見据えつつ、私が経験した日本社会における異文化理解や多様性と「共創社会」の創造に何が必要なのか、みなさんと一緒に考えたい。

プロフィール

京都精華大学 前学長／人間環境デザインプログラム教授マリ共和国生まれ。国費留学生として北京語言大学、南京東南大学で学ぶ。

91年来日、99年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士（工学）。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究している。京都精華大学人文学部教員、学部長を経て2018年4月同大学学長に就任（～2022年3月）を経て現職。暮らしの身近な視点から、多様な価値観を認めあう社会のありかたを提唱している。

主な著書に『「これからの世界」を生きる君に伝えたいこと』（大和書房）、『アフリカ出身サコ学長、日本を語る』（朝日新聞出版）など。

2025年日本国際博覧会は4月13日から10月13日まで開催されます。

サコ氏には、博覧会の理事・副会長・シニアアドバイザーとして万博への想いも語っていただきます。

教育セッション一覧

A 「型」を守り美しく生きる



面司 三世如意ノ坊

北沢 美白 氏

プロフィール

愛知県豊橋市出身。同志社大学社会学部卒業。同大在学中から能面師北沢如意三男、北沢元白に師事。東日本大震災を機に玄人を目指す修行開始を決意。2年半で約70面を制作し、北沢流面打ち全日程を終了。平成26年、金剛流潤星会（国立能楽堂）における作品舞台起用の大抜擢を受け27歳で北沢流宗家を襲名。京都嵐山で工房を経営。平成30年、虎屋本店ギャラリー（京都）にて初個展開催。令和元年、安久美神戸神明社で毎年開催される豊橋鬼祭（国重要無形文化財）で使用される神面の奉製事業に着手、6面の更新製作を令和7年に完了予定。

講演内容

能面家にとって重要な御道具の一つに「型紙」があります。古面から型をとったもので、いわば能面の設計図です。現在私が保有している能面の型紙数は170型で狂言面その他を合わせると300型を超えます。型紙から先人達の創意工夫とその情熱を読み取ることに日々膨大な時間を費やします。彫り比べてみると、同種の面であっても作者によって巧妙に型が変えてあることがわかります。先人達が「写し」という伝承方法によって能面を進化させてきたという事実気が付いた時、面打ちとは絶え間無く研究研鑽し、新作面を世に出し続けることであるという生き方の真理に至りました。そこから導き出した潔斎参籠という制作法を皆様にお話して、「美しく生きる」ヒントにさせていただきたいと思います。

B すべての女たちへ 与謝野晶子からのメッセージ



与謝野晶子倶楽部運営委員
同志社女子大学、甲南大学、
京都橘大学非常勤講師
関西各地の生涯学習講座で講師

古澤 夕起子 氏

プロフィール

同志社大学で日本近代文学を学び、梅花女子大学の大学院で児童文学を修める。与謝野晶子、夫の鉄幹、石川啄木、北原白秋、木下杢太郎など明星派に所縁のある作家を研究対象にしている。京都に生まれて、現在に至っていることから、夏目漱石の随筆、森鷗外「高瀬舟」「津下四郎左衛門」、梶井基次郎「檸檬」、谷崎潤一郎「朱雀日記」、川端康成「古都」など京都を舞台とする文学作品の踏査、九条武子、与謝野礼巖などの事蹟調べを趣味にしている。著書に『与謝野晶子 童話の世界』（嵯峨野書院）、『与謝野晶子児童文学全集』解説（春陽堂）、『伸び支度 名作に描かれた少年少女』（おうふう）など。

講演内容

明治期に新しいメディアとして登場したのはさまざまな雑誌でした。与謝野晶子は『みだれ髪』の歌人として雑誌『明星』の女王と謳われ、詩「君死にたまふこと勿れ」を発表して物議を醸します。平塚らいてう等の『青鞥』創刊号に「山の動く日」を寄せてエールを送り、『女学雑誌』の若い読者に向けて評論を連載しました。『少女世界』や『少女の友』などの少女雑誌には童話を発表しています。そんな中、夫である鉄幹与謝野寛が渡欧すると、恋しさに矢も楯もたまらず夫を追いかけてパリへ向かうのです。二人はパリで明治の終わりを迎えました。今回は晶子の雑誌に於ける活動をたどりながら、さまざまな文学の分野で表現された晶子のメッセージをお届けします。

C

“What’s better?” “What’s next?” 「一石三鳥に」

～英語を使って架け橋に～



異文化情報学博士／全国通訳案内士
株式会社ランデルズ 代表取締役
NPO 法人 GICSS 通訳ガイド&
コミュニケーション・スキル研究会理事長
日本通訳案内士団体連合体 副会長
一般社団法人インバウンドガイド協会副会長

ランデル 洋子 氏

プロフィール

名古屋出身。英会話講師、海外旅行添乗員・海外駐在員、通訳ガイド、ビジネス通訳、アラスカツアーオペレーター事業運営などを経たのち、株式会社ランデルズにてグローバル人材育成や通訳ガイドの派遣・研修業務に携わる。元アメリカ大統領親族のアテンドなど重要業務を歴任しつつ、異文化情報学博士号を取得し、NPO法人 GICSS を創設。愛知万博では日本（政府）館 VIP エスコートのトレーニング講師を務めるなど全国での講演、研修、執筆活動に従事。また観光庁の通訳ガイド関連の委員会委員を歴任。日本の通訳ガイド育成の第一人者として定評がある。

講演内容

インバウンドで外国人観光客をガイドする“カリスマ通訳ガイド、業界のビジネスモデル”と言われ、一方でジャズ・ヴォーカリストとして全国で活躍する2つの顔で、忙しい人生を生きています。一人の英語好きの女の子がフリーランス通訳から起業し今に至る足跡を辿ると、楽なことはあまりなかった…でも前を向く夢と希望がすべての推進力でした。何があっても人生に無駄なことはなく、どん底にあっても常に忘れなかった3つのテーマは、祖父故春田鉄次郎（明治・大正期の貿易商）のDNA 故かもしれません。この講演は翌日の大阪 Jazz ライブと合わせて大きな楽しみです。そんな生き方スタイルをご紹介します、元気が出せる場になれば幸いです。

D

「未来の暮らしを見にいこう」



アルファ建築設計事務所 代表取締役
一級建築士 管理建築士
日本建築家協会 登録建築家
大阪府被災建築物応急危険度判定士
大阪府住まいまちづくり
教育普及協議会 副会長
摂南大学、大阪工業技術専門学校
非常勤講師・教育編成委員
ITC-J 北大阪クラブ会員

木村 貞基 氏

プロフィール

1973年生 大阪市立大学（現大阪公立大学）大学院 博士課程前期修了
1998年～1999年 イタリア ミラノ留学
2008年 「イタリアミラノサローネ」個展開催
2009年 メキシコ国立モレロス州大学建築学部設学舎設計コンペ当選
2010年 箕面市長表彰受賞
2012年 大阪府知事表彰受賞
2017年 「イタリアベネツィアビエンナーレ」選出[THE PLAY]参加
2022年 第40回大阪都市景観建築賞大阪府知事賞受賞
（箕面滝道/橋本亭）

講演内容

今年開催される大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の中でも「未来の暮らし」、は大切なコンセプトに位置付けられています。建築の世界における先端技術を活用させた設計、建設手法やまちづくりの最新事例について先ずご紹介し、次に住宅のオートメーション（自動化）にインターネットを取り入れ、外出先から遠隔操作ができる家（コネクティッド・ホーム）等の先端住宅をご紹介します。と思っています。

皆さんと一緒に未来の暮らしについて考えていきたいと思っています。

E

English Session

プレゼンテーションに楽しさを取り入れるーその方法とは？

Title: HOW TO?

INJECT FUN INTO PRESENTATIONS

Facilitator: **Ms. Margaret Sutherland**

プロフィール

元 ITC 国際会長 (2009 - 11)

現在 Cyber Club と Waverley Communication 重複会員

ビジネス経歴：広告業35年

Speak up Coaching Communication Skills トレーナー



Program Leader: **Mr. C.J. Marks**

(クリスタル神戸クラブ会員、TED Coach、甲南大学英語講師)

講演内容

In this session we will cover the importance of fun in your workshops or presentations while covering two very important aspects of communicating effectively;

LISTENING: We can all hear but do we really listen?

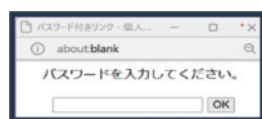
BODY LANGUAGE: What our Body language is saying, does it match our words?

The above could be educational and fun.

このセッションでは、ワークショップやプレゼンテーションで楽しさを取り入れることの重要性について説明しながら、効果的なコミュニケーションをする際の非常に重要な 2つの側面について説明します。リスニング：私たちは「聞く」ことができて、本当に「聴く」ことができていますか？ ボディランゲージ：あなたのボディランゲージと言葉は一致していますか？ このセッションは楽しくてためになります。

ITC-J 新ウェブサイトの開き方

1. 「ITC-J 通信3.4.5」に添付された【ITC-J 新ウェブサイト会員ログイン方法】PDF 版をデスクトップに保存、それを開いて URL をクリックすればウェブサイトに入ることができます。
2. スマートフォンからは右の QR コードを読み込む



- ① 会員ログインをクリック
- ② パスワードを入力する。OK

晩餐会エンターテインメントのご案内

声楽・ピアノ・フルート、そして ミュージックソーによるアンサンブルのひととき

2025年6月30日(月)

オーソドックスな声楽の作品から、聴き馴染みのある作品まで幅広く取り上げ、クラシック音楽のひとときを美味しいお食事と共に…。

そしてミュージカルソー*という、珍しい楽器が奏でる音にも触れて、皆さまの五感を大いに刺激する体験をお楽しみください。

さらに嬉しい体験もあります。ベートーヴェンの交響曲第九番第4楽章「第九」の一部を佐渡裕総監督の「1万人の第九」合唱指導者の加藤かおり様にミニレッスンをしていただきます。

「第九」を声高らかに歌いましょう！

*ミュージカルソーとは“のこぎり楽器”です。乞うご期待！



Soprano 加藤 かおり /ソプラノ

大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了後、ウィーン国立音楽大学 Lehrgang für Lied und Oratorium 科を卒業。日本シューベルト協会、関西歌曲研究会、日本ドイツリート協会、まほろば21世紀創作歌曲の会、各会員。日本ドイツリート協会では制作担当役員も務める。現在、大阪音楽大学非常勤講師。同大学演奏員、及び同大学附属音楽院声楽講師。サントリー ×MBS「1万人の第九」合唱指導者

Piano 原 真奈美 /ピアノ

大阪音楽大学大学院ピアノソロ研究室修了。関西新人演奏会等出演。03-08年独ダラムシュタット市立音楽大学、国立フランクフルト芸術大学に留学。欧州各地で演奏し新聞・雑誌で好評を得る。Torneo Internazionale di Musica 第2位、聴衆賞、Concorso Musicale Europeo Citta di Moncalieri 入賞、審査員特別賞を受賞。ソリストとしてオーケストラとの共演、ソロリサイタルほか、アンサンブルのリサイタルも多数。サマーミュージックフェスティバル大阪、大阪クラシック、ラフォルジュルネ TOKYO エリアコンサート等参加。大阪音楽大学大学院、京都光華女子大学各講師。大阪音楽大学附属音楽院登録講師。日本演奏連盟、高の原音楽芸術協会、神戸音楽家協会、高槻音楽家協会各会員。奈良県音楽芸術協会理次期会長。



Flute/ Musical saw 齊藤 舞歌 /フルート、ミュージカルソー

大阪音楽大学音楽学部器楽学科（フルート専攻）卒業。同大学院修了。現在、同大学演奏員。日本フルートコンヴェンションコンクール金賞、長江杯国際コンクール第一位、ミュージカルソー世界大会第一及び特別賞受賞。フルート&ミュージカルソー独奏で、国内外のオーケストラと協演。イタリア、ドイツ、ニューヨーク等の音楽祭のソリストをつとめ、新聞、ラジオ、テレビ等にも出演。京都芸術祭「京都府知事賞」、茨木市市制70周年記念「功労賞」等多数受賞。

ITC-J 第43期 年次大会 観光のご案内

日時：2025年6月29日（日）

A
コース

平田進也と行くディープな大阪ワクワクツアー ～大阪にいながら世界旅行～

大阪は魅力的な観光スポットが満載
お笑いの町として知られる大阪を満喫
喋って 食べて 大いに笑いましょう！

案内人：日本旅行「おもしろ旅企画 ヒラタ屋」
代表 平田 進也 氏



おもしろ旅 いざ大阪へ!!

16：00 ホテル阪急インターナショナル出発

ローマ?

↓
16：20 京橋「真実の口」

香港?

↓
16：50 **新世界**
ジャンジャン横丁で食べ歩き
アニマル柄専門店「なにわ小町」
(特製ヒョウ柄Tシャツプレゼント!)



パリ?

↓
18：45 **通天閣** (高さ103m)
難波界限 天下の台所「道頓堀」など散策

シンガポール?

↓
19：30 夕食
難波シンガポールレストラン「ヒルマン」

↓
21：00

↓
21：30 ホテル阪急インターナショナル着



参加人数：定員35名限定 参加費：21,500円（保険含）

B コース

雅な京懐石をゆったりと楽しむコース



享保元年創業300余年の歴史を持つ京都の老舗料亭美濃吉本店「竹茂楼」のはじめての直営店「ホテル阪急インターナショナル店」。25階の天空のパノラマビューからは大阪市内や遠く六甲山を望みます。地上180mからの眺望と夜景を眺めながら伝統京懐石でご会食いただきます。



場所：京懐石 美濃吉「竹茂楼」

ホテル阪急インターナショナル店25階

予定時間：18:00～21:00（ホール貸し切り）



参加人数：定員25名限定 参加費：15,000円（税・サ込）

Aコース・Bコースの申し込みについて

※4月1日(火)～4月10日(木)までに各自でメールにてお申し込みください。

※今回は人数限定のため、グループでの申し込みは出来ません。

※お申し込み先：観光委員会 佃 眞夕美 tsukuda8565@gmail.com

白井 正子 shiraisroom1@outlook.jp

観光申込書にコース（Aコース、Bコース）を選択し、カウンスル・クラブ・氏名（ふりがな）・携帯番号・メールアドレスを明記の上、上記2名の両アドレスに同時に送信してください。

観光申込書はJ-CLOより3月中旬に配信させていただきます。

※参加費の振り込みは締め切り後、ご連絡いたします。

※キャンセル・変更については、5月20日(火)までをお願いいたします。

それ以降の返金は出来ません。

※お問い合わせ先：観光委員長 佃 眞夕美 tsukuda8565@gmail.com

TEL: 090-7497-6060

※申し込みはお申込み順とし、募集人員に達した時点で締め切らせていただきます。



ITC-J 第43期 年次大会申込要領

ITC-J 第43期年次大会申込書について

- 下記の役職のみ記載する。
ITC-J 役員・ITC-J 委員長・元 ITC-J 会長・元日本リージョン会長
各レベル会長・クラブ ITC-J 派遣員(代理)
- 重複会員は ITC-J 会費を納めているクラブで申込み登録する。
- 欠席者は欠席協力金を支払う。
- CMT のみ出席の会員について、登録費は不要、欠席協力金を支払う。
- 教育セッションは第1、第2希望を記入する。会場の状況により希望に沿えない場合もある。
- 昼食は、両日ともお弁当です。
- 晩餐会に出席の方で食物アレルギーのある方は、梶木博子食事委員長に事前に連絡する。
- ゲスト登録費3,000円（晩餐会のみ出席の場合、登録費不要）
- 登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金はクラブで纏め、大会会計へ送金する。

登録費	6月30日(月)・7月1日(火)	12,000円
昼食費	6月30日(月)・7月1日(火)	2,500円
晩餐会費	6月30日(月)	13,000円
欠席協力金		3,000円

ホテル宿泊について

- 宿泊費は各自支払う。
- 変更・キャンセル 4月24日(木)まで：各自、宿泊委員長に連絡する。
4月25日(金)以降：各自、直接ホテルに連絡する。
- キャンセルの場合：キャンセル料を各自支払う。
キャンセルポリシー

予約解除の通知を受けた日					
60日前	30日前	14日前	7日前	前日	当日・不泊
10%	20%	30%	50%	80%	100%

*%は宿泊料金に対するキャンセル料の比率です。

- チェックイン15:00、チェックアウト11:00

登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金の申込期日

第1回締切日 2025年3月15日(土) 最終締切日 2025年5月15日(木)
※5月16日(金)以降は取消しのみ受け付ける。

登録費・昼食費・晩餐会費・欠席協力金の送金期日

2025年5月16日(金)～5月23日(金)

※送金の際、5月15日の最終締切り時点での申込金を振り込んでください。(返金不可)

登録委員長：鵜山 紀子 (2 甲南) n-uyama@hera.eonet.ne.jp TEL: 078-851-2595
 食事委員長：梶木 博子 (2 御影) hiroro-kajiki@mbn.nifty.com TEL: 090-4564-5597
 宿泊委員長：立花 典子 (3 しらさぎ・クリスタル神戸) tachibana-1956@a012.broada.jp
 TEL: 090-8575-8012
 大会会計：藤川ひとみ (3 淡路) hitomi@umemaru.co.jp TEL: 090-8820-3501
 ホテル阪急インターナショナル：大阪市北区茶屋町19番19号 TEL: 06-6377-2100
 新阪急ホテルアネックス：大阪市北区芝田1丁目8番1号 TEL: 06-6375-4686
 ホテル阪急レスパイア大阪：大阪市北区大深町1番1号 TEL: 06-6372-8006

ITC-J 第43期年次大会
会員用申込書

キリトリ

ITC-J 第43期年次大会
ゲスト用申込書

キリトリ

ITC-J 第43期年次大会申込書（会員用）

会員名：		役職名：		
	月 日	○印	金額（円）	申込金額（円）
出席日及び登録費	6月30日（月）		12,000	
	7月1日（火）			
昼 食 費	6月30日（月）		2,500	
	7月1日（火）		2,500	
晩 餐 会 費	6月30日（月）		13,000	
欠 席 協 力 金			3,000	
申 込 合 計				
教 育 セ ッ シ ョ ン		第1希望（ ）	第2希望（ ）	

-----キリトリ-----

ITC-J 第43期年次大会申込書（ゲスト用）

紹介会員名：		(フリガナ) ゲスト名：		
	月 日	○印	金額（円）	申込金額（円）
出席日及び登録費	6月30日（月）		3,000	
	7月1日（火）			
昼 食 費	6月30日（月）		2,500	
	7月1日（火）		2,500	
晩 餐 会 費	6月30日（月）		13,000	
晩餐会ゲストと相席	希 望		申込合計金額	
教 育 セ ッ シ ョ ン		第1希望（ ）	第2希望（ ）	

-----キリトリ-----



ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブトレーニングインコミュニケーション
ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニ
ケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

ITC-J Pledge

We, as members of Interactive Training in Communication - Japan,
hereby pledge to improve our communication and leadership skills,
in order to achieve greater understanding throughout the world.

ITC-J 声明文

ITC-J の使命は、ITC-J の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術
を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた成熟した社会人を
養成し社会に貢献することにある。

Mission Statement of ITC-J

The mission of ITC-J is to present the members opportunities for quality
training in communication and leadership skills which are the purposes of
Interactive Training in Communication-Japan and benefit the society by
providing mature individuals.



編集後記

今期の役員会、委員会活動を主に編集いたしました。新しい活動に踏み出された委員会、
年次大会に向けて準備を進められている各委員会、会員へエールを送るような会報を目指
しました。
編集者 堤 其美子 編集委員 宮武 和美

